

目標達成計画

作成日：平成 26年 5月 8日

【目標達成計画】				目標達成に要する期間	
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	
1	1	利用者が明るく穏やかに暮らせるよう、地域や利用者ニーズについて職員全体で話し合う機会を設け、現状に沿った事業所独自の理念を作り上げ、つ事業所全体で共有し意識づけしていくために日々の中でも話し合い実践に繋げていかれることを期待したい。	運営理念や今後の方針について、定期的な振り返りを行うとともに、ご利用者様やご家族様より、日常生活の中で聴かれたご意見やご要望等を反映し、実態に即した運営理念となるよう、スタッフ間で意見や認識等を共有し同じ方向性のもと、ケア提供させていただく。	現状の運営理念について、スタッフの意見や認識、今後の方向性を確認し、集約した意見等をつひとつ紐解き、ケアの方向性を統一する。具体的に介護目標を掲げ、運営理念に基づいたサービス提供にに取り組む。	随時 (調査後実施済み)
2	6	利用者同士の対話にも耳を傾け、家族からの意見や要望、苦情は事業所の発展のためと前向きに受け止め、全職員への報告、連絡、相談を積み、運営に反映させていかれることを期待したい。	事業所独自の活動として“接遇委員会”を機能させ、日常的なご利用者様同士の会話や、スタッフとの会話の中で聴かれたご意見やご要望等を記録に残し、毎週開催しているケアに関するカンファレンスと同時開催の業務改善会議内で検証し、納得いただいたケアを提供させていただけるよう取り組む。	立ち上げ間もない“接遇委員会”を機能させるために、担当スタッフの活動状況を定期的に報告するシステムを構築し、ご意見やご要望等の記録を含め、スタッフ間の認識を共通化し、サービス提供に反映できるような取り組み。	随時
3	12	今後は家族の意向を確認しながら、重度化した場合の終末期ケアの対応に関した指針について、研修、勉強会を行い、医療機関との連携を図りながら、利用者、家族の安心のための支援体制の構築を期待したい。	ご利用開始前にご本人様とご家族様を含め、ホームとして提供できるケアについて説明し同意を得るとともに、ご利用者様の状態変化に応じて、その都度対応方法を説明していたが、ご利用者様のリスクマネジメントを行い、重度化や終末期の対応方法について、定期的な情報提供を行う。	年度ごとやご利用者様の状態変化等に伴い、ホームとして提供できるケアについて、ご本人様やご家族様に対する報告を継続するとともに、年間研修予定にホームとしての重度化や終末期に関する対応方法、支援体制の振り返りを行う。	2ヶ月
4	12-2	今後は定期的に訓練を実施し、現状の起こりうる事態を想定した訓練や研修を行い迅速な対応ができるよう期待したい。	緊急時や事故発生時の対応方法、手順等についてマニュアル化し、スタッフ間での共有を継続するとともに、医療機関での治療等の前にホームとして可能な対応について、定期的な訓練の実施を行う。	年間の研修計画に学びの機会を設けるとともに、ご利用者様の実態に即して、緊急時に迅速に対応できるよう定期的且つ必要時の訓練を内・外部(訪問看護ステーション、救急救命士)機関の協力のもと実践に取り組む。	随時
5	13	今後は消防機関や近隣地域との繋がりが確立できる話し合いの場と緊急時に協力を得られる体制の構築に期待したい。	近隣住民や消防機関、行政機関との訓練の実施を調整済みであるため、今後は地域の防災連絡網(防災組織圏)にホームを入れていただき、緊急時に応援要請及び協力していただく体制づくりを目指す。	地域住民や消防機関、行政機関との緊急時に訓練を実施予定であり、今後は定期的な訓練の実施とともに、緊急時に応援要請(協力)していただくよう関係性をつくり、地域の防災連絡網に防災会長の協力のもと入られていただくよう、直接打診を行う。	1ヶ月
6					ヶ月